

2019 年 5 月 22 日

西菱電機株式会社

旅客輸送の BCP 対応にアプリを活用
～西菱電機、大阪空港交通株式会社にトランシーバーアプリを提供～

西菱電機株式会社（本社事務所：大阪府大阪市、代表取締役社長：西井希伊、以下「西菱電機」）は、大阪空港交通株式会社（本社：大阪府豊中市、代表取締役社長：大熊清司、以下「大阪空港交通」）に、トランシーバーアプリ「Transceiver」の提供を開始いたしました。大阪空港交通が運行するリムジンバスの運行管理者と現場案内係との間の連絡の迅速化、災害時でも繋がりやすい連絡手段としての利用が期待されています。



■大阪空港交通が「Transceiver」アプリを採用した背景と目的

関西主要ターミナルと大阪国際空港及び関西国際空港を結ぶ、空港リムジンバスを運行する大阪空港交通は、これまで、運行管理者と現場案内係との連絡に電話を利用しており、各案内係へ個別に連絡をとるのに時間を要しておりました。また、2018 年 6 月 18 日に発生した大阪府北部地震や、その後の台風の際に電話が使えないことがあり、連絡手段の見直しを検討しておりました。

「Transceiver」アプリの導入後、運行管理者から現場案内係への連絡の際には、「一斉通話」や「グループ通話」機能を利用することで、素早い伝達が可能になりました。また、パケット通信を利用しているため、地震や台風などの災害時でも繋がりやすい連絡手段として、BCP 対策としての利用にも期待されています。

■大阪空港交通株式会社

「大阪国際空港（伊丹空港）」と「関西国際空港」の2つの空港と関西各地を結ぶルートでリムジンバスを運行しています。昭和38年の設立以来、お客様に信頼される「安全」で「安心」なリムジンバスを目指し、お客様の旅のおもてなしと、輸送の安全性の向上に取り組んでおります。

■西菱電機株式会社

IoT サービスを中心とする「IoT 事業」、携帯情報通信端末の販売及び修理再生などを手がける「情報通信端末事業」、情報通信機器及びシステムの開発、販売、保守、運用を手がける「情報通信システム事業」を展開する ICT ソリューション企業です。

「IoT 事業」では、業務効率化・生産性向上のためのプラットフォーム「Seiryō Business Platform (SBP)」を提供しています。例えば、産業機械の稼働状況の可視化、圃場の環境の可視化、社内の屋内環境の可視化などの IoT サービスや、業務報告ツール「Check-in（チェックイン）」、IP トランシーバーアプリ「Transceiver（トランシーバー）」、インカムアプリ「Incom+（インカムプラス）」などのコミュニケーションサービスが、プラットフォーム上でご利用いただけます。

■「Transceiver（トランシーバー）」アプリとは

スマートフォンで利用できるトランシーバーアプリケーションです。作業中や業務中でも、必要なメンバーとすぐに音声で情報伝達ができるのが特長です。運送・タクシー・バス・工場・建設・警備など、音声ですぐに情報伝達が必要な業務に適しています。

※IoT・クラウドサービスのオンラインストア「Seiryō Marketplace」から、トライアルの申込みができます。
(<https://marketplace.seiryoelectric.com>)

■「Seiryō Marketplace」とは

Seiryō Business Platformに関連する製品やサービスを、オンライン上で購入できます。導入事例、カタログなど Seiryō Business Platform に関する情報がいつでも入手できるほか、今後は、開発者ブログやホワイトペーパーの掲載など、IoT や業務効率化に関する役立つ情報を発信していきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

西菱電機株式会社 本社事務所：大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル

広報グループ（本社事務所）TEL：06-6345-4160

事業開発本部（東京支社）TEL：03-5777-3944 E-mail：info@cs.seiryodenki.co.jp